

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
1 運営体制の改善に関する目標							
ア 法人の理事や、経営審議会委員及び教育研究審議会委員について、外部有識者等を登用し、学外の広く斬新な意見を取り入れるなど大学運営の透明性の向上を図る。	理事、経営審議会委員及び教育研究審議会委員については、複数の外部の有識者等を委嘱し、大学運営の透明化を図る。	理事2名、経営審議会委員4名、教育研究審議会委員3名の延べ9名について学外有識者を迎え、審議会等に参加いただき、運営の透明化を図っている。	A	・理事、審議会委員に外部有識者等を登用し、大学運営の透明化を図ったか。	A		103
イ 法人の理事については、分野別の担当制を採用し、明確な事務分掌のもと効果的に理事長を補佐する執行体制を構築する。	各理事については、規程に基づく担当事務を掌理し、理事長に対する定期的な報告を行う。	各理事が担当事務を所掌する委員会等の構成員となり、毎月開催する総務調整委員会や定例的な理事打合せにおいて、理事長へ報告等を行っている。	A	・各理事については、規程に基づく担当事務を掌理し、理事長に対する定期的な報告を行ったか。	A		104
ウ 学内の各種委員会については、大学を取り巻く状況の変化や教育研究上の諸課題を踏まえ、適宜所掌事務の見直しや組織の改編を行う。	学内の各種委員会については、適切かつ効率的な委員会運営を進めるため、審議目的や目標を明確に持たせ、運営状況の点検や課題の整理を行う。	各委員会において所掌項目の確認、年間計画等を示して取組みを行っている。各種課題については、必要に応じて他の委員会と連携しながら取組みを行っている。	A	・各種委員会について審議目的や目標を明確に持たせ、運営状況の点検や課題の整理を行ったか。	A		105
2 教育研究組織の改善に関する目標							
教育研究の高度化や社会の変化、地域のニーズ等を踏まえ、助産師養成課程のあり方や、行政保健師等高度な専門性を求められる人材の育成など様々な見地から教育研究組織上の課題を把握・検証し、時勢に対応した組織・制度の見直しを進める。	学内委員会において、改善諸課題を整理する。	各委員会において所掌事項に関する課題を整理・検討し、総務調整委員会において全体調整を行った。	A	・学内委員会において、改善諸課題を整理したか。	A		106
3 人事の適正化に関する目標							
業績評価制度の構築に合わせた任期制の活用や他機関との人材交流など、本学の特性を踏まえた観点	本学に適した任用形態のあり方を検討するために、業績評価制度を構築し、試行する。	・上期にワーキンググループを設置し制度案を検討・決定し、下期において試行を実施した。	A	・業績評価制度を構築し、試行したか。	A	各教員には試行における評価を今後の教育活動等に活かしてほしい。	107

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
から人事の活性化方策を検討し、優れた教員の継続的な確保に努める。							
イ 教員の採用等については、手続きや選考基準を明確にし、公正で透明性の高い制度の運用を図る。	教員の採用等は、選考規程に基づき公募するとともに、審議会の審議を経て採用を行う。	教員等選考規程に基づき、教育研究審議会での審議を経て、採用を行った。	A	・教員の採用等は、選考規程に基づき公募し、審議会の審議を経て採用したか。	A		108
ウ 専門教育の充実を図るため、臨床(臨地)教授制度の導入の検討、整備を図る。	(22年度該当なし)	—	—		—		109
エ 学生の国際的な感覚・知識の涵養を図るため、外国人教員の登用を推進する。(再掲)	海外の最先端の知識・技術への理解を深めるため、本学の専門領域に関して高い知見を有する外国人教員の有期での採用を検討する。(再掲)	国際交流締結大学から教員として招へいした場合の給与等待遇について検討を行った。なお、採用候補者の都合により23年度は採用とならなかった。	A	・外国人教員の有期での採用を検討したか。	A		110
ア 教員の業績について、教育活動、研究活動等一定分野ごと適正に評価する仕組みを検討し、試行したうえで、本学に適した業績評価制度を平成23年度を目標に構築する。 また、その評価結果を教員の顕彰や処遇に反映させる仕組みを検討し、構築する。	業績評価制度を構築し、試行する。	上期にワーキンググループを設置し制度案を検討・決定し、下期において試行を実施した。	A	・業績評価制度を構築し、試行したか。	A	各教員には試行における評価を今後の教育活動等に活かしてほしい。	111
4 事務等の効率化・合理化に関する目標							
ア 限られた人員で効率的な事務処理を行なうため、事務の洗い出しや整理統合を継続的に進めるとともに、決裁過程や書式・様式を極力簡素化するなど、事務負担の軽減を図る。	事務の簡素化を進めながら、適切かつ効率的な事務処理を行う。 労務管理、会計事務管理については必要な支援を受けながら、適切かつ効率的な事務運営を推進する。	施設利用等の許可事務について、様式を簡素化することにより事務の効率化を図った。 労務管理と会計事務管理について、社会保険労務士や税理士と委託契約を締結し、必要の都度支援を受けながら適切な運営を行った。	A A	・適切かつ効率的な事務処理を行ったか。 ・適切かつ効率的な事務運営を推進したか。	A A		112 113
イ 専門業務や定型業務等、外部委託(アウトソーシング)が可能な業	法人における有効な外部委託活用手法等を検討する。	他法人の実施事例を参考に、業務の実態、費用対効果等を勘案し	A	・法人における有効な外部委託活用	A		114

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
務については、費用対効果による妥当性等を踏まえその活用を進める。		ながら、外部委託の妥当性について検討を行った。		手法等を検討したか。			
ウ 事務手続きや情報伝達手段における一層の効率化の観点から、インターネットや学内情報ネットワーク等のIT利用の更なる推進を図る。	受験生や在校生が必要とする各種申請書等について、ホームページのリニューアルにあわせ、ダウンロードが可能な範囲を拡大するなど利便性の向上を図る。	大学の年間行事予定（入試日を含む）を公開した。また、23年4月リニューアルに合わせ、利用頻度の高い申請書等についてダウンロードできるよう検討・作業を行った。	A	・受験生や在校生が必要とする各種申請書等について利便性の向上を図ったか。	A		115
	学生、教員、事務職員間の学内情報ネットワークの利用の現状を検証し、掲示板の効果的な活用など情報ネットワークの一層の活用方策を検討する。	学内情報ネットワークに開設している掲示板及び予定表は閲覧権と投稿権を定めて運用し、幅広く利用されている。	A	・情報ネットワークの一層の活用方策を検討したか。	A		116

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
自己収入の増加に関する目標							
ア 研究水準の向上に向けた取組みを全学的に強化し、科学研究費補助金等の競争的資金や、共同研究、受託研究などによる外部研究資金の獲得に努める。	科学研究費補助金について、教員の申請を促すために、学内でアドバイスを受けられる制度などを検討する。	科学研究費補助金について、教員の申請を促すために、学内でアドバイスを受けられる制度を創設し、運用を開始した。	A	・科学研究費補助金について、学内でアドバイスを受けられる制度などを検討したか。	A	科学研究費補助金等の申請件数は目標に従って増加しており評価できる。共同研究等の他の外部資金についても獲得に努めてほしい。	117
イ 外部研究資金を獲得した教員については、教育研究上の優遇措置を講ずるなど、獲得に対するインセンティブを付与する仕組みを構築する。 (数値目標) 科学研究費補助金の申請件数を、過去6年間(平成15~20年度)の平均件数の1.5倍に増加させる。	科学研究費補助金を獲得した教員に対して講ずる教育研究上の優遇措置のあり方を検討する。	科学研究費補助金を獲得した教員1名を科研費アドバイザーに指名したうえで、研究費の増額配分を行うこととした。	A	・科学研究費補助金を獲得した教員に対しての教育研究上の優遇措置のあり方を検討したか。	A		118
ア 大学の財政基盤安定のため、授業料や入学科収入等の安定的な確保を図る。	授業料の口座振替制度の検討を行う。	授業料は、納付回数が年2回であること、1回の納付額が多額であることを踏まえ、口座振替のメリット・デメリットについて検討した。	A	・授業料の口座振替制度の検討を行ったか。	A		119
	授業料収入について、滞納が発生した場合は原因を調査しすみやかな解決に努める。	年度途中の未納者に対する事情聞き取りにより、速やかな納付となるように努め、平成22年度分は完納となった。	A	・授業料収入について、滞納が発生した場合は、原因を調査しすみやかな解決に努めたか。	A		120
	保健医療福祉に関連する事	保健医療福祉に関する公的な研	A	・施設設備の貸出	A		121

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
イ 大学の施設設備について、教育研究上に支障がない範囲で学外に有料で開放する制度を整備する。	業などへの施設設備の貸出を行う。	修会や学会などについて、施設の貸出しを行った。		を行ったか。			
2. 経費の効率化に関する目標							
ア 省エネルギーや物品のリサイクル利用、文書のペーパーレス化など、事務経費の削減に効果的な取組みを進める。 (数値目標) 管理的経費について、効率的な執行に取り組むことにより毎年1.5%以上の節減を目指す。	休憩時の消灯、冷暖房の適正温度設定など、全学的な省エネルギー運動を展開する。	冷暖房温度は、全学で夏27度、冬20度に設定、休憩時間の不要な電灯や通常不在となる部屋等の消灯など、省エネルギー運動を展開した。	A	・全学的な省エネルギー運動を展開したか。	A		122
	物品の調達にあたっては、リサイクル製品やエコ製品の使用に努める。	コピー用紙や事務用品等の調達で、リサイクル製品やエコ製品の使用に努めた。	A	・リサイクル製品やエコ製品の使用に努めたか。	A		123
イ 専門業務や定型業務等、外部委託(アウトソーシング)が可能な業務については、費用対効果による妥当性等を踏まえその活用を進める。(再掲)	法人における有効な外部委託活用手法等を検討する。(再掲)	他法人の実施事例を参考に、業務の実態、費用対効果等を勘案しながら、外部委託の妥当性について検討を行った。	A	・法人における有効な外部委託活用手法等を検討したか。	A		124
ウ 経費節減を全学的に推進するため、職員のコスト意識の醸成を図る。	経費節減について周知するとともに、全職員のコスト意識を喚起する。	学内会議等において、当年度予算及び今後の法人予算の動向を説明する中でコスト意識を喚起した。	A	・経費節減について周知し、職員のコスト意識を喚起したか。	A		125
3. 資産の運用管理の改善に関する目標							
ア 大学の施設設備について、教育研究上の支障が出ない範囲で学外者に開放するなど、新たな活用を図る。	保健医療福祉に関連する事業などへの施設設備の貸出を行う。(再掲)	保健医療福祉に関する公的な研修会や学会などについて、施設の貸出しを行った。	A	・施設設備の貸出を行ったか。	A		126
イ 施設設備の整備にあたっては、低公害車の購入や省エネルギー性の高い設備の導入など、環境負荷に配慮した取組みを行う。	平成20年度から県が実施している「やまがたECOマネジメントシステム」に準拠し、環境負荷に配慮する。	環境負荷に配慮し、照明や冷暖房の適正使用等のエコオフィス活動に取り組んだ。	A	・環境負荷に配慮したか。	A		127
	物品の調達にあたっては、リサイクル製品やエコ製品の使用に努める。(再掲)	コピー用紙や事務用品等の調達で、リサイクル製品やエコ製品の使用に努めた。	A	・リサイクル製品やエコ製品の使用に努めたか。	A		128

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評 定	委員会からの意見等	連番
				に努めたか。			
ウ 手許資金の運用に当たっては、一定のルールのもと、安全かつ効果的に行う。	運用ルールの策定を検討し、余裕金の安全な運用を行う。	資金管理方針を策定し、余裕資金の安全な運用を行った。	A	・運用ルール策定 を検討し、余裕金の 安全な運用を行っ たか。	A		129

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

第5 自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
評価の充実に関する目標							
ア 法人運営や教育研究活動等全般にわたり適切な自己点検・自己評価を行うため、点検・評価項目や実施手法等について継続的な改善・見直しを図る。	「自己点検・評価報告書」の作成に向け、諸課題を整理する。(再掲)	平成21年度に係る自己点検・評価報告書について、各学内委員会において、所掌事項毎に作成し、報告書を取りまとめた。	A	・「自己点検・評価報告書」の作成に向け、諸課題を整理したか。	A		130
イ 自己点検、評価及び外部評価の結果を踏まえ、現状の課題や問題点を的確に把握するとともに、その対策を効果的に講じることにより、教育研究活動や大学運営の一層の改善を図る。	大学認証評価機関等による外部評価の結果を公表する。(再掲)	平成21年度に財団法人大学基準協会から同協会の大学基準に適合しているとの認定を受け、平成22年3月より本学ホームページで評価結果を公表している。	A	・大学認証評価機関等による外部評価の結果を公表したか。	A		131
	助言等を受けた問題点に対する改善計画の策定を検討する。(再掲)	改善計画の策定に向け、個々の問題点等ごと、関係する委員会が中心となって、問題点等の検討を行った。	A	・助言等を受けた問題点に対する改善計画の策定を検討したか。	A		132
2. 情報公開の推進に関する目標							
ア 大学運営の透明性を高めるため、財務情報や大学の目標・計画、外部評価の結果等法人の運営に関する諸事項について積極的に公表する。	財務情報や大学の目標、計画等法人運営上の諸情報を県民に広く公表する。	22年度年度計画、21年度財務諸表について、県知事への届出・承認後、ホームページに速やかに掲載した。	A	・法人運営上の諸情報を県民に広く公表したか。	A		133
イ 大学の特色や魅力を広く内外に発信するため、ホームページや入学案内冊子などの情報発信媒体の充実及び有効活用を図るとともに、オープンキャンパス等多様な広報機会を通じて広報の強化を図る。	新たに追加された総合問題に対する入試相談や在学生とのフリートークなど、よりきめ細やかにオープンキャンパスを実施する。(再掲)	入試や大学生生活の疑問、心配なことについて、在学生や教員とフリートーク、相談できるコーナーを設置した。このコーナーに訪れた多くの参加者に対し、きめ細やかな相談対応を行った。オープンキャンパスの参加者は590名、内容についても好評を得た。	A	・よりきめ細やかにオープンキャンパスを実施したか。	A		134

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
	受験生や地域のニーズに応えた大学情報をホームページ掲載するため、ホームページのリニューアルを検討する。(再掲)	10月、ワーキンググループを立ち上げ、掲載内容を充実させるとともに、必要とする情報検索が容易で効果的な情報提供ができるよう、平成23年4月リニューアルに向け、検討・作業を行った。	S	受験生等のニーズに応えた大学情報をホームページに掲載するため、リニューアルを検討したか。	S		135
ウ 情報公開制度及び個人情報保護制度に関しては、県条例に基づき学内の諸規定を整備し、適切に運用する。	本学の規程に基づき適切に運用する。	情報公開及び個人情報保護については、法人の規程に基づき、適切に対応することとしている。(これまで申請なし。)	A	・規程に基づき適切に運用したか。	A		136

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

第6 その他の業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
安全管理に関する目標							
ア 労働安全衛生法その他の関係法令に基づき、安全衛生に関する管理体制や諸規定を整備する。	衛生委員会を定期的開催し、学内における安全衛生管理体制の充実に努める。	職員の健康障害の防止、健康の保持増進を図るため、衛生委員会を開催した。	A	・安全衛生管理体制の充実に努めたか。	A		137
イ 健康診断の実施や感染症対策、健康啓発の推進等、学生及び職員の健康管理を支援するための取組みを進める。	全学生を対象とした健康診断を年度当初に実施する。	4月当初に健康診断を実施し、全学生が受診した。	A	・全学生を対象とした健康診断を実施したか。	A		138
	学生の麻疹や風疹等の抗体の有無を本人から確認し、必要と認められる者に対してはワクチン接種を勧奨する。	入学時に保健調査票を提出させ、麻疹や風疹等の抗体の有無を確認するとともに、希望者には抗体検査を自己負担で実施したうえで、必要と認められる者に対してはワクチン接種を勧奨した。	A	・全学生の麻疹や風疹等の抗体の有無を確認し、必要と認められる者に対してワクチン接種を勧奨したか。	A		139
	全学生を対象としてHBs抗原抗体検査及びHBワクチンの接種を行う。	全学生を対象としてHBs抗原抗体検査を行い、抗体が陰性の者にワクチンの接種を行った。	A	・全学生を対象としてHBs抗原抗体検査及びHBワクチンの接種を行ったか。	A		140
ウ 学内施設及び大学周辺等の安全、防犯対策等の実施状況を適時点検し、事故等の未然防止に努める。	学内施設及び大学周辺等の安全、防犯対策等の実施状況を点検し、問題がある場合は必要な改善措置を検討する。	職員、警備会社職員による校内巡回を行っている。不審者情報等があれば、学生に情報提供するとともに、他大学で起きている事案について注意喚起を行った。	A	・学内施設及び大学周辺等の安全、防犯対策等の実施状況を点検し、必要な改善措置を検討したか。	A		141
エ 大規模な災害や事故等の発生に備えた学内の組織体制や対応マニュアル等を整備するとともに、有事を想定した実践的な訓練を行う。	大学の危機管理マニュアル等の策定を検討する。	他大学の作成事例を基に検討を行った。	A	・大学の危機管理マニュアル等の策定を検討したか。	A		142

公立大学法人 山形県立保健医療大学 項目別評価シート

中期計画	平成22年度 年度計画	平成22年度 年度実績	自己 評定	評価の視点	評定	委員会からの意見等	連番
オ セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメント等各種ハラスメントによる人権侵害を防止する取組みを進める。	ハラスメント相談室を中心として、各種ハラスメントに対する教育・予防対策として研修会を開催する。	6月7日に、全学対象に「大学におけるハラスメント防止について」と題した研修会を開催した。	A	・各種ハラスメントに対する教育・予防対策として研修会を開催したか。	A		143
カ 高度情報化社会における大学の情報資産のセキュリティを確保するため制定した本学の情報セキュリティポリシーについて、IT技術の進展等を踏まえた見直しを行いながら適切な運用に努める。	学内情報ネットワークの維持管理及び利用にあたっては、本学の情報セキュリティポリシーに沿って適切に行う。	本学の情報セキュリティポリシーに即して、IT技術の進展等を踏まえた見直しや検討を随時行いつつ、学内情報ネットワークの維持管理及び利用を適切に行っている。	A	・学内情報ネットワークの維持管理及び利用にあたって、情報セキュリティポリシーに沿って適切に行ったか。	A		144